（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（松本地域）

令和５年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	小説『安曇野』を活用した地域ブランド発信事業
事業主体 （連絡先）	安曇野市 政策部政策経営課企画担当（0263-71-2401）
事業区分	その他地域の元気を生み出す地域づくりに資する事業
事業タイプ	ソフト
総事業費	2,710,400 円（うち支援金：2,168,000 円）

事 業 内 容

小説『安曇野』（1974 年完結）を地域ブランドとして発信するため、小説の概要・魅力を紹介したパンフレット（10,000 部、Ａ４判８ページ）を作成した。また、小説の概要・魅力とともに、市の取り組みを継続して発信するため、安曇野市公式ホームページ内に特設ウェブサイトを開設した。

小説『安曇野』に関係する美術館などから講師を招き、住民向け講座「安曇野アカデミー」を計５回（座学を４回、現地ツアーを１回）開催し、小説の認知度向上に努めた。

【パンフレットとウェブサイト】

事 業 効 果

①パンフレットについて、安曇野市内外 13 か所以上で配架しているほか、安曇野市内外の計４回の催し、安曇野アカデミーなどで参加者に配布した。

②安曇野アカデミーについて、延べ 359 人が参加した。参加者アンケートによると、受講した満足度が 88%（全５回の平均）だったことから、小説『安曇野』を地域ブランドとして発信することができた。

③さまざまな広報媒体に小説『安曇野』のパンフレットの記事を掲載し、認知度向上につなげた。「パンフレットがほしい」との問い合わせが寄せられ、小説『安曇野』に関心を持つ人が増えていると実感している。

【目標・ねらい】

①シビック・プライドの醸成や移住・定住促進の機会創出
②地域ブランドに対する市民満足度の向上
③小説『安曇野』の認知度向上

※自己評価【　B　】

【理由】
・当初の目標より多くの機会でパンフレットを配布し、認知度向上に努めた。
・復刊を求める要望が上がるなど、小説に対する関心が向上した。

今後の取り組み

小説『安曇野』の認知度がある程度高まり、さらなる地域ブランド発信につなげるため、現在は絶版となっている小説の復刊に取り組む機運が醸成された。

そのため、令和６年度は関係団体と協働して小説の復刊に取り組むとともに、更なる小説の認知度向上及びシビック・プライド（郷土愛）の醸成につなげていく。具体的には、次世代を担う子どもたち・若者に対する認知度を向上させるため、復刊した小説を小中学校、高校、図書館などへ寄贈する。また、復刊した本を活用して読む会を開催する。一方、令和６年は小説が完結してから50周年の節目にあたることから、企画展や講演会などの50周年関連事業も行う。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた　「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある